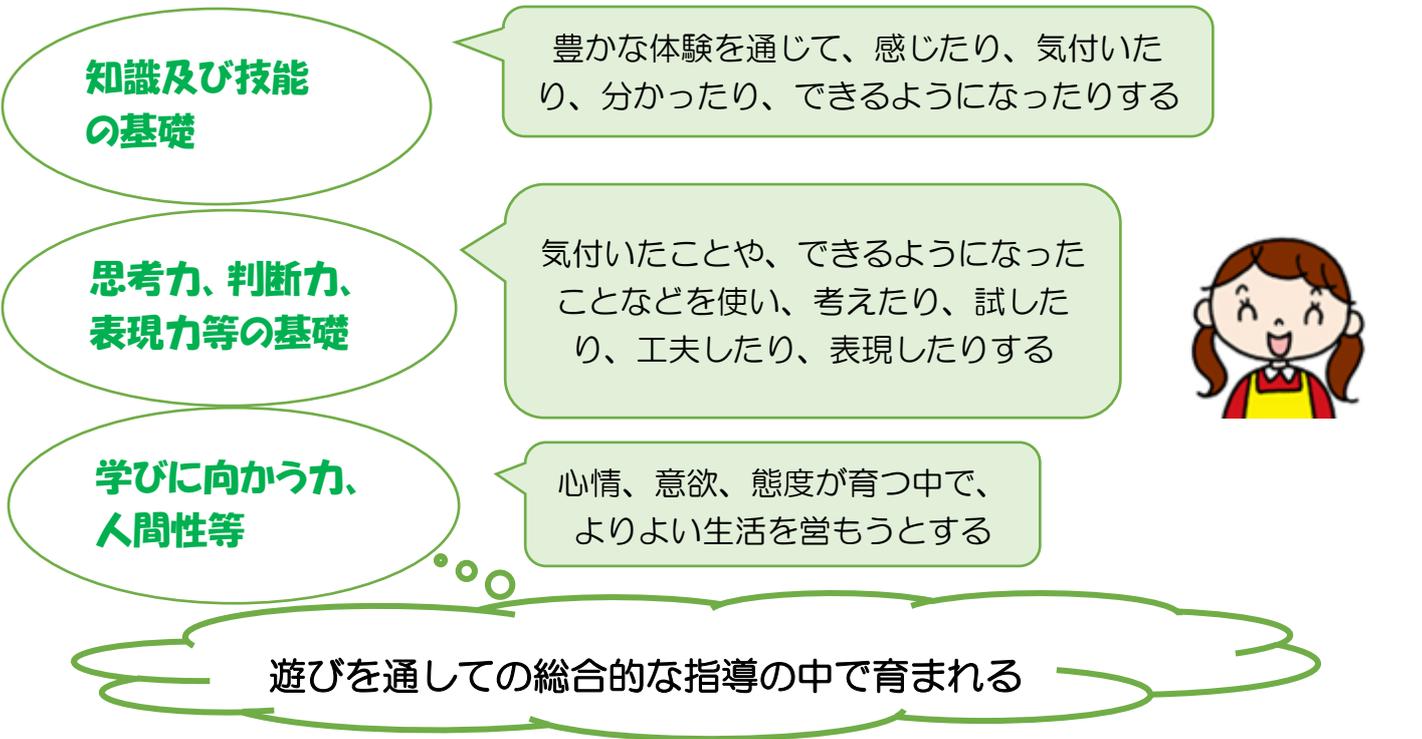


平成29年度の研究について

今年度も本園では、厚別区の子どもたちの健やかな成長を目指して、実践的な研究を推進しながら、研究内容や研修会などの取組みについて発信してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度の『研究主題』の背景となる、平成30年度の**幼稚園教育要領の改訂**についてお知らせいたします。

幼児期の教育は、『環境を通して』『幼児の主体的な活動としての遊びを通して』行うことは変わりません。新たに**幼稚園教育において育みたい資質・能力**及び『**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**』が示されました。



遊びを通した総合的な指導の中で一体的にこのような資質・能力が育っていきます。年長の修了の頃までに育ってほしい具体的な10の姿(以下)が明示されました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 (到達目標ではなく、育ってほしい姿です)

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

相互に絡み合って育っていく

本園の幼児の実態は…

見通しのもてる遊びや活動には積極的に関わることができるが…

自分が思ったように発想して遊びを創ろう！！



こんな子に育ってほしい

自分で考えて判断して行動に移そう！！

そこで“自分の力でやり遂げた満足感”を大切にしたいと考え、『**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**』の『**自立心**』の育みについて探っていくこととしました。

<研究主題> **人との関わりの中で『自立心』を育む**

本園で考える『自立心』とは…

「自立心」って自分のことは自分でする！ということだけではないのね。



「自分」だけではなく、人との関わり、関係性の中で育まれるものなのでは…。

『自立心』が育っている幼児の具体的な姿を

『人との関わりの中で、自分なりに考えたり、工夫したりしながら思いを実現させて満足感を味わう幼児』と捉えました。そのような幼児を育むために、下記の2つの視点について探っていきます。

探ります！

- ① 自分なりに思い巡らし遊びを実現させ満足につなげるための環境構成、援助
- ② 人との関わりの中で、思いを表したり受け入れたりしながら友達との遊びを実現させていくための環境構成、援助

お伝えします！

本園の研究や研修の内容についてホームページや掲示などでお伝えしていきます。ご感想等、是非お聞かせください！

「第1回厚別区私立幼稚園研修会」に

参加しました！

5月31日に、札幌国際大学教授 平野良明氏をお迎えして「遊びの意味と育ちへのつながり」というテーマで講演会が行われました。

非認知能力や環境を通して行う教育など、幼児期の教育の基盤となるお話を実践の様子を見ながらお話ししていただきました。

戸外で幼児同士が関わったり、自然との触れ合いを十分に経験したりすること、またその中で、一緒にいる保育者が豊かな言葉で共感的に体験して言葉につなげていくことが大切だというお話もありました。改めて日々子どもたちへの関わりを振り返り、今後の保育に生かしていける学びの時間となりました。



今年度も地域公開保育、研修会を企画しています。ぜひご参加ください！

地域公開保育

平成29年 10月11日(水) 9:30~12:00

★『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を一緒に考えましょう！
本園では『自立心』の視点から研究を進めています。
保育を参観していただき、様々な立場からの意見交流の機会にしたいと願っています。



保育に役立つ環境作りや支援の方法の実際

平成29年 12月5日(火) 16:00~17:30

★支援に必要な教材や保育室の環境の工夫などを見たり、実践を出し合ったりしながら、より有効な支援の手立てを考えていきましょう。